

日本品質管理学会 第119回クオリティトーク開催のご案内

1997年からクオリティパブとして年5～6回開催し、クオリティトークと名称を改め回を重ねて100回を超えました。品質管理のみならず広く経営に関するホットなテーマについて、最先端の実務で活躍される著名ゲストのお話を伺ったあと討論し、会員の親睦と自己研鑽をはかります。

今回のゲストスピーカーには、居駒 幹夫氏(青山学院大学)をお招きし、「アジャイル開発のプロジェクトマネジメントと品質マネジメント -58のQ&Aで学ぶ-」をテーマにお話しいただきます。多数のご参加をお待ちしています。

新型コロナウイルスによる肺炎感染の影響を鑑み、開催を延期しておりましたが、この度 Zoom 会議室を利用して開催することにいたしました。参加費、開催方法も変更しております。

多数のご参加をお待ちしています。

記

日 時：2020年9月29日(火) 18:30～20:30

会 場：Zoom会議室(Web)

テ ー マ：アジャイル開発のプロジェクトマネジメントと品質マネジメント -58のQ&Aで学ぶ-

ゲ ス ト：居駒 幹夫氏(青山学院大学 社会情報学部 学部特任教授)

聞きどころ：アジャイルソフトウェア開発(以下、アジャイル開発)が日本に紹介されて20年近く経ちますが、その普及率は欧米に対して大きく遅れています。その主な理由としては、「アジャイル開発は、試行錯誤しなければならないような特殊なソフトウェアの開発手法、開発中に要求が常に変化するソフトウェアの開発手法である」といった誤解にあります。

そこで今回のクオリティトークでは、テーマ名の書籍の著者、居駒幹夫氏に登壇いただき、アジャイル開発を導入しようとする組織の観点から、

- ①組織とアジャイル開発、そしてプロジェクトマネジメント(特にソフトウェア品質マネジメント)とのかかわり
 - ②アジャイル開発が、その本質的な部分において、信頼性を含めたソフトウェア品質を(従来の開発プロセスと同様に)マネジメント可能であること
 - ③これまで国内ソフトウェア開発組織が築き上げたソフトウェア開発における組織的な取り組みが、アジャイル開発の場合はどうなるのか
- を示し、今後の組織的なアジャイル開発の導入を容易にする術を語っていただきます。どのようにソフトウェアを開発するかを計画及び決定、マネジメントする人の立場で「組織的にどのようにソフトウェアを開発していこうか」という課題解決の指針を示していただきます。

参加費：会員 ¥2,200 非会員 ¥4,400 準会員 ¥1,100 学生 ¥2,200
(税込) ※参加費は、開催日前日までにお振込みください。

申込方法：ホームページからお申し込みください。

<http://www.jsqc.org/q/news/events-list.html>

お知らせ：継続的専門能力開発(CPD)の実績を証明いたします。それぞれの機関の様式に従い、記入済みの書式と本人であることが確認できる書類を前日までに郵送またはPDFファイルでお送りください。終了後、こちらからPDFファイルで返送いたします。

手数料：会員：無料 賛助会員：5名まで会員扱い 非会員：1通につき1,000円